

令和2年度 第3回豊能町教育委員会会議（7月定例会）会議録

日 時： 令和2年7月29日（水） 午後1時30分開会

場 所： 豊能町役場2階 大会議室

出席者：	教育長	森田 雅彦
	教育長職務代理者	宮崎 純光
	教育委員	太田 佳子
	教育委員	川村 新
	教育委員	岸本 恵子
	教育委員	坂口 敏子
事務局：	こども未来部長	八木 一史
	教育総務課長	入江 太志
	義務教育課長	吉澤 亘
	こども育成課長	竹内 弘明
	生涯学習課長	中谷 康彦
	義務教育課主幹兼保幼小中一貫教育推進室長	峯 亜希子
	教育総務課課長補佐	住原 聡

傍聴者： 8名

会議次第

○審議事項

第5号議案 豊能地区における令和3年度に使用する中学校教科用図書の採択について

○その他

○各課からの事務連絡

開会 午後1時30分

【議長】

それでは、会議を始めさせていただきたいと思います。

ただいまの出席議員は6名であります。過半数に達していますので、ただいまから令和2年度第3回豊能町教育委員会会議7月定例会を開会いたします。

会議録署名人を宮崎職務代理にお願いいたします。

【議長】

本日は審議事項1件を議題とさせていただきます。第5号議案豊能郡地区における令和3年度に使用する小中学校教科用図書の採択についてでございます。事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

第5号議案「令和3年度使用小・中学校教科用図書の採択について」、ご提案させていただきます。

その前に資料（6種類）の確認をさせていただきます。

一つ目が令和3年度使用小中学校教科用図書の採択について、二つ目が豊能郡地区における令和3年度に使用する教科用図書の採択について（答申）、三つ目が令和3年度使用豊能郡地区中学校教科用図書選定理由書、四つ目が令和3年度使用豊能郡地区中学校教科用図書推薦書、五つ目が令和3年度使用豊能郡地区中学校教科用図書調査報告書、そして最後に【資料】義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（抜粋）

資料はお揃いでしょうか。

それでは、ご提案させていただきます。

提案理由といたしましては、「令和3年度に使用する小学校教科用図書及び中学校教科用図書について、別紙選定理由書により「豊能郡地区における令和3年度に使用する教科用図書の採択について（答申）」および「豊能郡地区における令和2年度に使用する小中学校教科用図書の採択について（答申）」を受け、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（第14条）」により採択するものでございます。

それでは、中学校教科用図書採択につきまして、種目ごとに答申までの経過も含めてご説明させていただきます、ご審議くださいますようお願いいたします。

まず、国語・書写についてです。

国語は4社、書写も4社ございまして、推薦として上がってきたのが、国語は東京書籍と三省堂、書写は三省堂と光村図書でございました。

その後、採択協議会で協議し、国語は、三省堂を答申として上げさせていただきます。

選定理由としましては、教材の後にある「学びの道しるべ」において、「目標を確かめて、内容を整理し、自分の考えを深め、学びの振り返りができる」よう学習過程が示されており、非常に学習が進めやすい構成となっていること。学年最初の説明文教材では、まず「読み方」を学んで、その後に活用して取り組む教材が設定されており、とても学習が進めやすいこと。また、色覚の特性を考慮したカラーユニバーサルデザインの工夫に加え、説明文などの補助的な手掛かりが工夫されていること。情報も整理されており、生徒にとって読みやすく、わかりやすく、学びやすい、教員にとっても使いやすいという意見が多くあったということが選定の大きな理由となっております。保護者の方からも三省堂はわかりやすく、字体が見やすいというご意見をいただいております。

続きまして書写です。書写は、どちらの出版社もよくできておりましたが、光村図書で答申を上げさせていただきます。選定の理由としましては、光村図書は、学習の進め方が示されており、見通しを持って主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。また、「学習の窓」で学習のポイントが一目で分かるよう示されていること。硬筆練習帳の「書写ブック」が付いてあり、硬筆に取り組むときにとてもやりやすいということが、非常に評価されました。

国語と書写につきまして、ご審議いただきたいと思います。

【議長】

ご意見ご質問等ありましたらお出してください。

【委員】

今回の改定は、教科書の内容面でどのような点が大きく変わったのか教えていただきたい。

【事務局】

学習指導要領が国語だけではないのですが、大きく二点変わっております。一点目は、学習の各教科の目標が資質・能力三つの柱に即して構成されているということです。一つは知識及び技能二つ目は思考力・判断力・表現力等、そして三つめに学びに向かう力・人間性等、これに合わせて学習内容が整理されています。二つ目は主体的・対話的で深い学びになるような学習が組めるように教科書の方が作り変えられております。

【議長】

前は4つの目標であったのが、今回は3つに絞られた。もう一つは、主体的・対話的で深い学びというアクティブラーニングとも表現されておりますけれども、そういうことが実現できる工夫がなされている。これは、国語に限らずどの教科書においてもそういう事が前回と違ったところです。

【委員】

今回見せてもらった意見として、私は古典をしっかりやってほしい。昔から生き残っている内容ですからしっかりやってほしいと思っている。今回、あまり古典についてのコメントがない。なぜなのか理由を聞かせてほしい。

【事務局】

古典につきましては、これまで特に話題にはなっておりませんでした。ただ教科書を見たところ、どの出版社においても子ども達の発達段階に合わせて、教材の方が取り扱われております。

【委員】

教科書を見せていただいた感想ですが、三省堂は分かりやすく、すっきりして見たと時に理解しやすいと思いました。特に色合いが目に優しく、自宅で勉強する時もあまり疲れないかなと思いました。それと文法も充実して取り上げられていますし、説明文にグラフや表を用いたものがたくさんありましたので、課題としてグラフや表の読み取りっていうのがちょっと弱いというところがありましたので、その点で三省堂の教科書いいなと思いました。

【議長】

保護者の方からも同じようなご意見をいただいたところございます。

【委員】

書写の光村が他の日常生活に使える入学願書の送り状の書き方が載っていたり、特に書写ブックという練習帳がとってもいいと思いました。QRコードも付いており、運筆の動画がよく見ることができたのでわかりやすいと思った。ただ、国語が三省堂で書写が光村ということで小学校はどちらも光村を使っていると思うが、問題はないのか。

【事務局】

現在も国語と書写の教科書は、別の出版社の教科書を使用しております。今回の採択にあたりましても協議の話題にはなりました。現場の国語科の教員からは、特に問題がないという意見がございました。

【議長】

国語、書写につきましては、国語が三省堂、書写が光村でいきたいと思います。

【議長】

次をお願いいたします。

【事務局】

社会（地理的分野）についてです。

地理的分野は4社ございまして、推薦として上がってきたのが、教育出版と帝国書院でございました。

地理的分野につきましては、帝国書院を答申として上げさせていただきます。

選定理由としましては、帝国書院は見開き 2 ページで構成されており、本文と資料の配置が見やすくわかりやすい。また、調べ学習や振り返り学習などで、生徒が一人で教科書を読んでも理解できるような分かりやすい表記がされており、因果関係もきちんと説明されている。「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」では、SDGsにつながる課題解決学習に取り組めるよう工夫されている。深い学びにつながる「問い」があり、生徒が見通しをもって学習ができ、振り返りがしやすい構造になっております。また、生徒が学んだことを理解した上で相手に説明できるようにすることが大事であります。帝国書院は、学習のまとめが、「確認しよう」、「説明しよう」と統一されており、「説明する」というのがとてもよいというご意見もございました。

【議長】

社会地理的分野につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【委員】

私は、違いがよくわからなかったが、たくさん情報が掲載されていましたが、子ども達が学びやすいように工夫されているという点もいくつか説明してもらったが、もう少しまとめて教えていただきたい。

【事務局】

地理については、地図や図、グラフ、本文の内容などたくさんの情報が教科書の紙面の中に盛り込まれているのですが、帝国書院につきましては、それがとてもすっきりしているということ、写真やグラフの配置が子ども達にとって、とても見やすい構造になっているということです。それからグラフと地図を結びつけて子ども達が繋げて考えやすいように色使いなどもとても工夫されていて学びやすいのではないかなというご意見がありました。

【委員】

たくさん情報が載っていたが、グラフと地図が綺麗に結びついているという点がポイントという理解で良いのか。

【議長】

社会地理的分野につきましては、帝国書院の方向で進めたいと思います。

続きまして、歴史的分野についてお願いします。

【事務局】

歴史的分野は6社ございまして、推薦として上がってきたのが、東京書籍、帝国書院、日本文教出版でございました。

歴史的分野につきましては、日本文教出版を答申として上げさせていただきます。

選定理由としましては、歴史は流れを読むことが大事であり、その流れを理解しやすいというのが、日本文教出版でございました。特に、江戸時代、幕末前の世界史と日本史の関係性がわかりやすく配列されており、具体的には、欧米列強のアジア進出とアヘン戦争を学習した後に、江戸幕府の「異国船打払い令」につながるところは、因果関係がわかりやすく授業の組み立てがしやすいこと。本紙は見開き2ページで構成されており、本文の分量とページ内にある資料とのバランスがよく、生徒は読みやすい。特に各時代の文化の写真が多く掲載されており、特徴をつかみやすい構成になっていること。各ページに「学習課題」が設定されており、さらに「見方・考え方」というヒントが書かれていることによって、歴史的に考えを深めていくポイントがわかりやすく優れているということでございます。

ご審議をお願いいたします。

【議長】

社会歴史的分野につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【委員】

意見というか感想ですが、選定理由で江戸時代の幕末前の世界史と日本史の関係がとてもわかりやすく配列されているという事で、中学生と接していると、世界史と日本史がどうしてもごちゃごちゃになって、教科書がいろんなところに飛んでいると訳が分からなくなってくるが多いかと思う。そこがとても分かりやすく配列されているという事なのでとてもいいと思いました。

【事務局】

江戸時代の幕末のところをもう少し詳しく説明させていただきますと、具体的には欧米列強のアジアの進出とアヘン戦争を学習した後に、江戸幕府の異国船打払い令に繋がるところがとてもわかりやすい流れになっていると社会科の教員から意見として上がってきておりました。

【委員】

今聞かせて頂きまして、歴史の流れが大変わかりやすいということでしたけれど、年表については話題になったことはなかったのか。

【事務局】

年表というのは、各紙面の間に挟まれてある年表ということでよろしいでしょうか。

その年表につきましては、歴史は6社の中で、掲載している出版社と掲載されていない出版社がございましたが、日本文教出版につきましては、右側の方に記載されてあったかと思いますが、委員の協議の中ではあったほうが良いというご意見がございましたが、社会科の教員調査員の中での協議では、特にその部分につきましては、話題にはならなかったということでした。

【議長】

他にございませんか。

社会歴史的分野につきましては、日本文教出版の方を採択していくことで進めたいと思います。

続きまして社会の公民をお願いいたします。

【事務局】

公民的分野は6社ございまして、推薦として上がってきたのが、東京書籍、教育出版、日本文教出版でございました。

公民的分野につきましては、日本文教出版を答申として上げさせていただきます。選定理由としましては、現代社会の中で広がりを見せるさまざまな人権課題をていねいに説明していること。見開き2ページで構成されており、やわらかい配色で、文章と資料の分量のバランスが良く、文章の文字に注目しやすい紙面となっていること。また、図表の色づかいや構成が見やすく、理解しやすいこと。各章の最初に中学生が主役になった一場面を入れることで、公民の内容を身近に感じ、その中でその章の「見方・考え方」がわかるように工夫されていることが評価されております。

また、掲載されている参考資料も良い資料であるとのご意見もありました。保護者の方からは、日本文教出版はとても見やすく、挿絵と解説が生徒の興味・関心を引くように構成されており、よいというご意見をいただいております。

【議長】

ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【委員】

今回、教育出版と東京書籍も候補に上がっていたということですが、その二つの特色があれば教えていただきたい。

【事務局】

一緒に推薦に上がってきておりましたのが、東京書籍と教育出版でございましたが、東京書籍につきましては、たくさんの情報があり、また、生徒達に考えさせるような資料がたくさん掲載されており、思考力・表現力の向上につなげられるよう工夫がされているということでございます。教育出版につきましては、とてもシンプルな作りであって、授業者の工夫がしやすい構成の教科書になっております。

【議長】

他にございませんか。

社会公民的分野につきましては、日本文教出版で進めたいと思います。

続きまして、地図の方に移ります。事務局に説明を求めます。

【事務局】

地図は2社ございまして、東京書籍と帝国書院のどちらも推薦として上がってきました。

地図につきましては、帝国書院を答申として上げさせていただきます。

選定理由としましてはA4版に大きくなったことで地名や歴史的な出来事、特産品など、より多くの情報が紙面に掲載され、大きく見やすい紙面になっていること。「地図活用」という地図を活用する学習方法が掲載されており、地図を見るだけでなく、地図を読み取ることを通して、多面的・多角的に考えることができるよう、工夫されており、使いやすいこと。地形の様子を表す色合いと地名とのコントラストが良く、字がしっかり見え、地名などを探しやすい、地図帳として活用しやすいこと。帝国書院の地図は、非常に読みやすく、見やすいという点が評価されております。

【議長】

ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【委員】

社会の地理分野も帝国書院が採用されていますので、地図と連携しながら学習を進めやすいので良いと思います。裏にあるQRコードが、色々付いていますが、この地図帳とかについているQRコードは、実際に授業で使うことであるのか。

【事務局】

現在はあまり使ってはいませんが、これから子ども達が一人に一台タブレットを持つようになると考えると、授業でも積極的に使われていくようになるのではないかと思います。実際アクセスをしますと動画や衛星画像なども見ることができますので子ども達の学びの助けにはなるのではないかなと思います。

【議長】

今回の改定におきましては、どの教科書につきましても今ございましたQRコードが多く取り入れられており、実際にいろんな図表ですとか、あるいは動画が見られるようになったことが前回と大きく違っているところかと思えます。

【委員】

今回A4版に大きくなったということであれば、大きいと見やすいので良いと思えます。コメントですけどやっぱり指で拡大したくなるので、是非タブレットでやって、何丁目とか出るぐらいまで出てくると非常に親近感がわいて良いと思えます。

【議長】

他に意見はありますか。

ないようですので、地図につきましては、帝国書院で進めたいと思えます。

続きまして、数学について説明をお願いいたします。

【事務局】

数学は7社ございまして、推薦として上がってきたのが、東京書籍、啓林館、日本文教出版でございました。

数学につきましては、日本文教出版を答申として上げさせていただきます。

選定理由としましては、1時間のめあてが示されており、生徒が学習のポイントを把握しやすい構成となっていること。また、各学年の巻頭に「数学的な見方・考え方を身につけよう！」を掲載し、生徒に学習の意識づけをするとともに、各内容では「大切な見方・考え方」が色付けして掲載されているなどの工夫が見られること。各単元の導入に日常の具体的な場面が設定されていて、数学的活動を充実させることができること。「基本の問題」、「章の問題」には、標準的な問題から発展的な問題、対話的な学びの教材など幅広く問題が扱われている。前学年の復習や補充問題の問題量が適切であり、特に発展的な課題には、高校数学と関連付けられたものが設定されており、生徒の実態に応じて使用できること。各章の直前に「次の章を学ぶ前に」が設けられており、既習事項の確認ができるよう工夫されている。中学1年では「算数の確かめ」を設け、学習の連続性が意識されている。という点が評価されております。

保護者の方からは、日本文教出版はとても見やすい。数学は苦手でしたが、分かりやすく色分けされてあったり、囲われていたりしてスムーズに学習できると思う。分からなくなると生徒は投げ出ししてしまうが、とても分かりやすく書かれてあるとのご意見をいただいております。

【議長】

ご意見、ご質問等を求めます。

【委員】

日本文教出版の教科書を見せていただいて、各単元の導入に日常の具体的な場面が設定されていて良いということが書かれているが、それが具体的なことを申し上げると、中1のグラフの座標っていうところ単元の前に、他の会社は映画館のシートを載せてありますが、日文さんは、座標軸と同じようなものが載せられていて、そこに原点のOの所に自分の中学が書かれてあり、そこからどこどこに行くには、どの方向にいくらいくら行ったらいいですか。という横に本当の座標軸も載せられていて、ぱっと見ただけで日常とこれから自分たちが勉強すると同時に見えるというような配列がされているのが良いと思った。その日常的な場面だけではなく、切れて次に行くのではなく、それがとても良かった。それから具体的ですが、等式の性質というところで方程式を解く前に習うが、他の教科書会社は全て $a=b$ ならば $a+c=b+c$ みたいにすべて全部文で書かれているが日文だけ $a=b$ ならば次のことが言えると書かれてあり、その後こういう項目が挙げられていたので、その投げかけ方として同じことを伝えるにも文が考えられており、とてもわかりやすいと改めて思ったことがありました。以前にも日常のことが載っていてこちらの方がいいとって東書から外れたことがありましたが、いざその現場の先生が使われてみると使いにくいというような意見があったと思うが、今回また、今までと違う教科書会社になることで現場の先生方からは意見などあったのか聞きたい。

【事務局】

日本文教出版の方が選定に上がっておりまして、東京書籍から変わることでありますが、現場の先生方の意見としては、こども達の実態、豊能町能勢町のこども達の実態を見た時にどの教科書がいいのかという視点で教科書を見比べた時に先ほども説明をさせていただきましたが、問題の内容や問題の量などを考えると、こども達の力を伸ばすには、今回は日本文教出版の方が良いのではないかという意見になりました。

【議長】

数学的視点から見ていただき、ありがとうございます。

やはり教科書会社が変わりますので、調査員の先生方もよく見いただいている。

きちんと三社比較してそれぞれの良いところを挙げていただいております。やはり大事なところは数学的な見方、考え方、その内容を一つずつ単元で押さえていただく、あるいはページで押さえていただくようなこともありましたので、それぞれの単元の取り上げ方、例えば素因数分解一つにしましても、丁寧な形で順を追って取り上げているということからも優れているというように見させていただいたところでございます。

他に意見等はございませんか。

それでは、数学につきましては日本文教出版ということで進めたいと思います。

続きまして理科に進みたいと思います。

【事務局】

理科は5社ございまして、推薦として上がってきたのが東京書籍、啓林館でございました。理科につきましては、啓林館を答申として上げさせていただきます。

選定理由としましては「見方・考え方」を働かせながら探究の足場となるヒントを示すことで、主体的に考えやすいよう工夫されている。また、単元の導入が工夫されており、単元の学習に関連した身の回りの疑問について考えることで、学習の見通しが立てやすい構成となっている。探究の流れをつかみやすい構成となっている別冊の「探Qシート」を利用して、自分の考えを主体的に書きこませることができる。学びを活かして日常生活に見られる現象を考察する場面が多く取り上げられている。紙面にQRコードが300以上あり、デジタルコンテンツを活用して学びが広がるよう工夫されている。A B判サイズの大きい紙面であり、見やすく読みやすい。特に写真や図がわかりやすく、学習意欲の向上に配慮されている。という点が評価されています。小学校で使用されている教科書が啓林館であることも鑑み、啓林館を答申として上げております。

【議長】

ご意見、ご質問等を求めます。

【委員】

啓林館の教科書を見まして、日常生活とか社会に関連したコラムが随所に載っており、理科で学んだことが、どう日常生活と関係しているのかということを生徒が実感しやすいと思いました。それと算数や数学のことも資料として載っており、理科で使う算数や数学をもう一度認識、再認識できると思いました。それから先ほどQRコードが300以上も載っているという事ですがどのように活用できるのか。

【事務局】

理科の調査におきましては、特に探究活動とデジタルコンテンツの部分を注目して調査もされておりますが、その中で啓林館は、300以上の記載がありまして、こちらのQRコードにつきましては、例えば、単元のはじめに動画を見せて、こども達の意欲や興味関心を高めたり、啓林館の方には、フラッシュカードなども入っておりますのでそれで知識の定着を図ったり、そのようなことに授業の中では活用できるかなと思います。

【議長】

他に意見はございませんか。

理科につきましては、小学校と同様に啓林館を使うことで進めさせていただきます。
次に音楽の一般・器楽合奏につきましては、説明をお願いします。

【事務局】

音楽、一般・器楽合奏共に2社でございまして、教育出版と教育芸術社のどちらも推薦として上がってきました。音楽（一般）につきましては、教育芸術社を答申として上げさせていただきます。選定理由としましては、能勢町も豊能町も合唱発表会の取り組みがあり、3学年を通して「声の出し方」が非常にわかりやすく説明されていること。創作や指揮について、説明や図でより詳しく説明されており、3学年を通して発展的に学習することができるよう配慮されていること。楽典がリズムゲームを使って楽しく学習できるよう工夫されていること。が特に評価されています。

音楽（器楽合奏）につきましても、教育芸術社を答申として上げさせていただきます。選定理由としましては基礎的な奏法を重視しつつ、生徒にとって親しみやすい教材が配置されている。また、生徒の心身の発達段階に即して学習が進められるように配慮されていること。アルトリコーダーでは、導入のための曲が充実しており、基本練習から独奏・アンサンブルと段階的に配列されている。「リコーダーの種類」や「楽器を知ろう」など、生徒が興味をもって学習できるよう工夫されており、非常に内容が充実している点が評価されております。

ご審議をお願いいたします。

【議長】

ご意見ご質問等ありましたらお出してください。

【委員】

詳しくご説明いただきましたが、音楽の教科書というのは、2社から1社を選ぶということになるが、大きく違うところはどのような点であったのか教えていただきたい。

【事務局】

2社で特に大きく違う点は、技能の指導に関して、とても教育芸術の方が説明が分かりやすいということです。詳しく丁寧に図や絵なども用いながら指導されているということと、こども達が興味を持ちそうな曲、それから楽器の種類なども多いという点がとても評価されているところでございます。

【委員】

感想になるが、私も音楽を教えさせていただいて、今、技能についての説明が詳しいという説明がありましたが、私も歌をやっているので、声の出し方にしてもただ単にこう

いう姿勢でやりましょうと書かれているだけではなく、この教芸の方は響きとかも意識するようにと書かれていましたし、リコーダーのタンギングにしても、舌の動きをこうするんですだけではなく、息の送りを送る時に頭の中に響かせるようにとかそういう一歩進んだような内容まで書かれていていいなと思いました。

【委員】

音楽も教科書を見させてもらったら、分かりやすく文で書かれているところもあると思うが、やはり、今後は、QRコードとかつけて、実際の演奏しているところや発声しているところが見られればもっとよくなるというのが感想です。先ほどの理科も300以上あると聞きましたが、高学年になるにつれ、実験も少なくなっていて、目で見ることができると非常に学習が進んで良くなるなと感じました。

【事務局】

音楽の教科書にもQRコードがあり、それを使いますと、ただタブレットが必要ですが、動画で歌の様子や指揮なども見るような教科書になっております。

【議長】

音楽の一般、器楽合奏につきましては、教育芸術社で進めることとします。
続きまして、美術について、説明を求めます。

【事務局】

美術は3社ございまして、推薦として上がってきたのが、開隆堂と光村図書でございました。美術につきましては、開隆堂を答申として上げさせていただきます。選定理由としましては、題材ごとに育成すべき資質・能力の三つの柱に基づいた「学習の目標」がわかりやすく書かれていること。写真と文章が見やすく、レイアウトが良い。原寸大の作品画像が使いやすい。生徒が、造形的な視点を意識して表現や鑑賞の活動に取り組める内容が取り上げられていること。2・3年の「暮らしに生きる美術」などで、美術が社会で実際に活用されている事例が紹介されていること。2・3年の表紙は名古屋城本丸の彫刻欄間になっており、その復元プロジェクトが表紙の中に続いて特集されていることで、美術鑑賞や将来の仕事についての授業に繋げていくことができる構成になっていること。が特に評価されています。

保護者の方からは、教科書を手にした時、子ども達がどう思うのかを考えたい。開隆堂は、図鑑を見ているようで楽しい、芸術的に見て非常に良いとのご意見をいただきました。

ご審議をお願いいたします。

【議長】

ご意見、ご質問等ありましたらお出してください。

【委員】

今、ご説明頂きました「暮らしに生きる美術」とかですね。美術が社会で実際に活用されている実例を出されるということでございます。私も公民館活動をさせていただいておりました、興味を持っております。美術と生活とのつながりを意識されているのか教えていただきたい。

【事務局】

美術と生活がどのようにつながっているのかということにつきましては、美術の力が社会の中でどんな風に役立っているのかを知ることができるような内容が教科書に掲載されております。いろんな職種の方のお話を通して内容が紹介されております。

【委員】

感想になるが、光村図書の美術の本、推薦書にもありますが、人それぞれの美しいが面白いていう巻頭のところの谷川俊太郎さんの文がすごくいいなと思ってこういうことで導入に使っていただけたらいいなという感想を持っていた。原寸大の絵も多く、美しい本だと思った。ただ開隆堂の方が身近な作品がすごく多く、実際の授業では、先生方の選定理由聞かせてもらおうと、いいんだなと思ったが、光村もとてもいいと思った。

【事務局】

先ほどの説明の中にはありませんでしたが、協議の中で教科書に取り上げられている作品のことが議論されましたが、こども達の作品がどんな影響を与えるのかということで、同年代のこども達が作った作品が多く載っている出版社やその部分が少ない教科書もあるが、協議の中でこども達の作品が載っているとその方に引っ張られることもあるのではないかとご意見もございました。

【議長】

美術につきましては開隆堂で進めたいと思います。

続きまして保健体育について、説明をお願いいたします。

【事務局】

保健体育は4社ございまして、推薦として上がってきたのが東京書籍と大修館でございました。保健体育につきましては、東京書籍を答申として上げさせていただきます。選定理由としましては、学習過程が「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「本

文」、「資料」、「発問」、「活用する」、「広げる」と分かりやすく示されており、見通しをもって学習できるよう配慮されていること。感染症の單元では、「資料」としての挿絵や図・写真・説明がわかりやすく記載されており、非常に優れていること。すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されていること。巻末には、重要な言葉の解説が設けられている。章末には、「学習のまとめ」として章末問題が設けられ、学習を振り返ることができる。という点が特に優れていると評価されております。

ご審議をお願いいたします。

【議長】

ご意見ご質問等ありましたらお出してください。

【委員】

東京書籍を見た感想ですが、グラフや表が多くて説明が分かりやすい。あと、インターネットと健康について、コミュニケーショントラブルとかネット依存もきちんと書いてあり、生活排水と健康についても言及しているという所で良いと思いました。今回がんの教育について、新しく取り上げられているようですが、どのように取り扱われているのか。

【事務局】

今回、新たにがん教育が明示されているということで、各社がんについての扱いがありますが、がんの病気の予防それから回復についてが、単独で扱われております。関連しまして喫煙や飲酒等の内容の時にもがんについて学ぶことができる教科書になっております。

【議長】

他にご意見等、ありましたらお出してください。

保健体育につきましては、東京書籍の方で進めさせていただきます。

続きまして、技術家庭の技術分野につきましては説明をお願いいたします。

【事務局】

技術分野は3社ございまして、推薦として上がってきたのが、教育図書と開隆堂でございました。技術分野につきましては、教育図書を答申として上げさせていただきます。選定理由としましては、技術に関する原理や法則、基礎的な技術の仕組みを学べるよう適切な内容が取り上げられていること。様々な分野で実習例が詳しく示されており、実習例を応用し、各校の状況に応じた様々な取り組みができ、生徒の興味・関心を高めることができること。巻末付録のハンドブックに必要な知識が簡潔にまとめられておりとても良い。

生徒自身が重要なポイントを意識して学ぶことができる。技術は、栽培や加工などいろいろな分野に分かれており、たくさんの道具を使う中で付録のハンドブックは非常にわかりやすくまとめられており、非常に使いやすいこと。が特に評価されております。ハンドブックは、中学校を卒業した後も活用できること、生きる力を育むことにつながるのご意見もございました。

ご審議をお願いいたします。

【議長】

技術・家庭の技術分野について、ご質問等ご意見等ありましたらお出しください。

【委員】

今、出てきたように技術ハンドブックというのがとても分かりやすく、卒業後も使っていけそうな内容で良かったなと思っている。実際の教科書の内容についてももう少し詳しく教えていただきたい。

【事務局】

ハンドブックにつきましては、作業などの活動に必要な知識がまとめられておりますが、教科書の方につきましては先ほどの選定理由の中でも申し上げさせていただきましたように技術に関する原理や法則、基礎的な技術の仕組みが学べるようしっかり内容の方は取り上げられておりますが、技術というのは、知識を学ぶところと活動する時間があると思います、そこがわかりやすい構成になっております。また、その活動に切り替えをしていた時に生徒が主体的に自ら進んで学習ができるような工夫もされております。

【議長】

他にございませんか。

技術・家庭（技術分野）につきましては、教育図書で進めさせていただきます。

続きまして、技術・家庭（家庭分野）について、説明を求めます。

【事務局】

家庭分野は3社ございまして、推薦として上がってきたのが、東京書籍と教育図書でございました。家庭分野につきましては、東京書籍を答申として上げさせていただきます。選定理由としましては、原寸大の写真を用いるなど、実感を伴った学習ができるように工夫されていること。「生活の課題と実践の進め方」では、「イメージマップ」や「ダイヤモンドランキング」など、対話を助けるツールが提示されており、生徒がスムーズに活動できる仕掛けがあること。視覚的にわかりやすい資料が豊富であり、生徒の理解度を高めることができる工夫が見られること。が特に優れている点でございます。また、授業で使

用するだけでなく、日常の生活でも活用できるというところがとても評価されております。

ご審議をお願いいたします。

【委員】

東京書籍のその実際の原寸大の写真というところで、まつり縫いのところが写真で載っていてどのように縫ったらいいかっていうのは、その写真を見たら分かりやすいですし、あとミシンの上糸と下糸の調子を合わせるところも丁寧に説明が図解で載っていたと思いますので、自分で何か縫い物をするときに参考になる。

あと、学校で家庭科を学んで、それが実際に自分たちの普段の日常にどのように役に立つかという点で、先生方はどのように教えられるのか。

【事務局】

学校で学んだことが家庭に帰った時、家でどのように生かされるかということについてですが、先ほど委員の方からもお話がありましたように、どの出版社もミシンの使い方やまつり縫いの仕方については扱っていますが、比較して見比べてみますと、東京書籍のものが一番子ども達が自分自身で教科書を見て理解できる。自力解決ができるところまで詳しく記載されている。例えば家で自分でまつり縫いを試みようと思った時には、教科書を見たらできる。ミシンを使って何かをしようという時には、教科書を見たら自分で調節ができるというふうに学校で学んだことが、生活でどう生かされるか生かすことができるのかということ考えた時、東京書籍版が一番わかりやすくなっております。

【委員】

技術と家庭科ですが、これもQRコードが載っていますか。

【事務局】

今回は、全ての教科書にQRコードは入っております。

【議長】

QRコードにつきましては、一人一台タブレットが入りますので、これから授業研究の中で十分活用していきたい。

技術家庭（家庭分野）につきましては、東京書籍で進めていきたいと思っております。

続きまして、英語につきまして説明を求めます。

【事務局】

英語については、今年度、小学校の3・4年生で「外国語活動」が始まり、5・6年生では、「外国語科」として教科化されたことにより、中学校の教科用図書も大きく変わっております。小学校での教科化を受け、初めての採択になりますので、これまでと学びの履歴の違う子ども達に、どの教科用図書を使用するのがよいのか、議論が行われました。

英語につきましては6社ございまして、推薦として上がってきたのが、教育出版、光村図書、啓林館でございました。議論の末、各Unitにおける「Part」の本文の文量（語数）は、繰り返し音読をして理解できる適切な量である。文法事項が3年間を通して段階的・系統的に配列されていることに加え、バラバラに扱われやすい接続詞や助動詞、不定詞などがまとまって配列されているため、生徒にとっては非常に理解しやすく、定着を図りながら学習を進めることができる。今回の採択は、小学校での学習が定着していることが前提としてありますが、学び直しの要素をしっかりと持っていながら、これから求められる英語教育を網羅している教科書を選んでいく必要がある。という意見を鑑みまして、英語につきましては、啓林館を答申として上げさせていただきます。保護者の方からは、今の子ども達には英語が重要になります。英語でつまずくかもしれない子ども達を楽しいという授業で引っ張って行ってほしい、というご意見をいただいております。

ご審議をお願いいたします。

【委員】

小学校に英語が入ってきて、私ひょっとしたら英語嫌いが低年齢化して、相対的に英語嫌い日本人が増えているのではないかと思っている。今、実際英語が入ってきて、どれくらい影響を及ぼすのか教えて頂きたい。

【事務局】

英語嫌いを作らないようにするのが教師の役目かと思いますが、小学校では、今年度から外国語科が教科化され、教科書を使つての授業が始まっております。それに合わせて、国語や算数と同じように小学生にも英語の評価をするということが同時に行なわれると考えると、中学校の教員は小学校では小学校でのある一定の単語と、それから文法を学んだことを学んできている。それが身に付いているということを前提にして中学校の授業をすることになるかと思いますが、今までは、中学生になれば英語の学習が始まっていたので、皆同じところからのスタートで良かったものが、学びのキャリアが違う状態で中学校の教員は英語の授業をするということになり、英語嫌いの子ども達を作らないようにすることに通じるかと思いますが、小中の系統性を意識した指導が大事になってくると思います。

【委員】

入ってまだ数年なので、教科書選定は難しいし、指導も難しいと思うが、現場の先生は使いやすい教科書で、しっかり成果を出していただきたい。

【委員】

今回の教科書を各教科見ましたが、とにかく驚いたのは、英語の教科書で内容量とここまで中学校3年間でやるのだなと思った。小学校に英語が入ったことでここまで変わるのかと思い、本当にびっくりして英語と聞くだけで苦手な自分にとっては、大丈夫かなと本当に心配しました。しかし、結果的にBlue Sky 啓林館を選ばれたことでちょっとほっとしています。豊能町では、これを選ばないだろうと思っていましたので、教育出版とか光村もすごく良かったと思う。内容もかなり難しいなとは思ったが、そのあたりの特徴を教えていただきたい。

【事務局】

こども達の実態を考えた時にBlue Sky 啓林館の方を答申としてあげておりますが、推薦の方に上がっておりました、教育出版それから光村につきましては、まず教育出版のワンワールドの方は、文法の配列の難易度が少し高いというところがございますが、内容の方はとても充実しているということです。また、チャレンジ的な内容が多く、教科書の中にごございますので、英語が得意なお子さんにとっては、とても楽しい教科書ではないかと思えます。光村につきましては、教科書をパッと開いた時にとても見やすい印象がございます。光村の教科書の方はストーリー性がありまして、出てくる登場人物が中学1年生から3年生までの成長の様子が、ストーリーになっているので、英語の苦手なお子さんにとっては、そのストーリー性をもって英語の内容が理解しやすいような作りになっております。

【委員】

私は今、中学生を見ていまして、be 動詞と一般動詞がごっちゃになってしまう子が多いなと思っています。教科書を見せてもらうと be 動詞と一般動詞が比較できるように文法をまとめてあるようなところもあり、良いと思いましたが、先ほどの説明にあった小学校での学びの履歴が違うところ、英語教育が始り、英語教育を受けてる子達には、これからの中学校の英語教育っていうのはどうなのかという点について聞きたい。

【事務局】

これからの英語教育ということで、私たちが小さい頃に受けてきた英語教育とは大きく変わってきております。社会がグローバル化していく中で、これからは、英語で聞いて、英語で考えて、英語で伝えるという高度なスキルの方が求められるようになっていくと思えます。だからといって、難しく大変なように考えるのではなく、スペルを正しく書くこ

とが良いとか文法を全部正確に使うことが大事なのではなく、英語というのは、人とコミュニケーションをする、人とつながるためのものだとすることを大事にしていくことがこれからの英語教育にとっては必要になっていくのかなと思います。私たちが英語教育を受けていた頃は、文法とはこうだ、その文法を使えるのはこういう場面だという学習であったように思いますが、今は、先に場面があり、この場面で必要な文法はこの文法です。というように変わってきております。

【委員】

啓林館の文章が短かったので、他社の教科書と比べて少し心配であったが、先生方のご意見を聞くと、文章は短くても、系統的に学習を積み重ねていけば、自自力でどんな文章でも読めるようになるという期待が持てるようになりました。

【事務局】

教科書を比べた時、ご意見いただいたように確かに分量は少ないかなと感じられるかと思いますが、まずは、基本的なことをしっかり学習されて、プラスでの学習内容も考えながら進めていくことが必要になってくるかなと思います。

【委員】

私は大学で教えており、英語で論文を書き、発表する機会も大学院生になると時々ある。自分の持っている英語スキルを出すことになかなか抵抗があり、間違えると恥ずかしいという気持ちがあるように感じる。小学校中学校からアウトプットする、喋る、喋ってもらうとか書いてみんなで発表するという機会を増やし、大学生になってもスペルが間違っているというようなことも恥ずかしくないような子ども達を育てていただきたい。

【事務局】

英語を使えるところまで、子ども達の学力を持っていくことが今とても求められていると思います。

【議長】

英語につきましては学習会の中でも、相当時間を取って意見交換させていただいたところでございます。今回は啓林館ということで、能勢町と豊能町の今の子ども達の状況を見た時に、この教科書でよいのではないかとということでございました。ただし、次回の採択時にはやはりもう少し考えていく必要があるのではないかとと思うが、常々、教えていただくにはプラスアルファ先生の力量によるところがあるとは思いますが、そういうことも加味しながら今回はこの教科書を採択していくことになった。したがって、英語につきましては、啓林館で進めたい。

続きまして、道徳について説明を求めます。

【事務局】

道徳は7社ございまして、推薦として上がってきたのが、光村図書、日本文教出版、学研でございました。道徳につきましては、日本文教出版を答申として上げさせていただきます。

選定理由としましては、各学年とも「本冊」と「道徳ノート」の2冊で構成されています。「道徳ノート」に自分の考えを書き、学びの記録を積み重ねることで、自らを振り返って成長を実感することができる。さらに評価するときに成長を見取りやすい。それぞれの教材冒頭に登場人物や取り上げている実在の人物の写真などがあり、議論する内容が理解でき、登場人物の関係性が分かりやすくなる工夫がされていること。が特に評価されています。

また道徳は、教科化されてまだ2年目です。今回もしっかり調査された中で、同じ日本文教出版が推薦されていますので、継続して使用したらどうかというご意見もございました。

ご審議をお願いいたします。

【議長】

ご意見ご質問等を求めます。

【委員】

前回の採択時にも、道徳ノートが良いということで日文さんが選ばれたような記憶がありますが、その道徳ノートについて、議論されたことがあれば教えていただきたい。

【事務局】

道徳ノートにつきましては、現在も日文を使用しております。道徳ノートは、やはりあった方が良いという現場の声もございます。今回の日本文教出版の道徳ノートにつきましては、前回と改善改良されている部分がございます。今現在使っている道徳ノートには、子ども達に考えさせる「問い」が記載されておりますが、今回の方には記載されておらず、授業者である教師が考えた問いに対して書かせるということができるということでとても使いやすくなっているという意見です。

【委員】

今の話から前回の道徳ノートについて、私は本当に採用して欲しくないと思っていた。最初から誘導されているような感じがしており、授業の工夫がしにくいと思っていた。し

かし、今回は、自分で工夫して書けるようになっており、授業者の意図も出しやすくなったなどと思うので、今回は良かったと思う。

【議長】

他にご意見ご質問等を求めます。

そうしましたら、今回につきましては、学習指導要領が10年に1度の改定があり、採択につきましてもその視点が教科書に反映されているかというようなことにつきまして、調査段階においてきちっと見ていただいていると感じたところございます。それぞれ16種目につきまして、審議を進めてまいりましたが、全般にわたりまして、何かご意見ご感想等を求めます。

以上をもちまして、審議を終結いたします。

採決を行います前にもう一度、各種目の答申内容の確認をさせていただきます。

国語につきましては、三省堂。書写につきましては、光村図書。社会地理的分野につきましては、帝国書院。社会歴史的分野につきましては、日本文教出版。社会公民的分野につきましては、日本文教出版。地図につきましては、帝国書院。数学につきましては、日本文教出版。理科につきましては、啓林館。音楽一般につきましては、教育芸術社。音楽器楽合奏につきましては、教育芸術社。美術につきましては、開隆堂。保健体育につきましては、東京書籍。技術家庭（技術分野）につきましては、教育図書。技術家庭（家庭分野）につきましては、東京書籍。英語につきましては、啓林館。道徳につきましては、日本文教出版でございます。

それでは、採決を行います。

第5号議案「豊能郡地区における令和3年度使用小・中学校教科用図書の採択について」につきまして賛成の方の挙手を求めます。

＝ 採択の挙手 ＝

賛成多数であります。よって第5号議案は可決されました。

続きまして、小学校用教科書につきまして説明を求めます。

【事務局】

来年度小学校で使用する教科用図書については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条」に基づき、令和2年度と同一の教科書を採択するということをご確認いただきたいものとなっております。「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の5頁をご覧ください。第14条に「義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定められところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書の採択をするものとする。」としております。政令で定める期間

が、4年間となっておりますので、令和3年度の小学校使用の教科用図書につきましては本年度より使用しておりますので、来年度は2年目ということになり、4年を超えておりませんので、同一の教科用図書を採択するということをご確認をお願いしたいと思います。

【議長】

今、事務局より説明がありましたとおり小学校用教科書図書につきましては、昨年採択をいたしました。今、説明ありましたようにこれは、政令で4年間同じものを使うとなっております。したがって、小学校用教科書図書につきましては、確認いたしますが、国語は光村図書、書写は光村図書、社会は東京書籍、地図は帝国書院、算数は啓林館、理科は啓林館、生活は東京書籍、音楽は教育芸術社、図画工作は日本文教出版、家庭科は開隆堂、保健は東京書籍、道徳は日本文教出版、英語は光村図書、を使っていくということでございます。

以上につきまして、採決を取ります。

賛成の方の挙手を求めます。

＝ 採択の挙手 ＝

【議長】

賛成多数であります。よって第5号議案は可決されました。

【議長】

その他の案件に移らせていただきます。

前回以降の経過の報告について、順次事務局より報告をお願いいたします。

【事務局】

- ・ 吉川保育所職員の新型コロナウイルス感染について
- ・ 7月豪雨における教育委員会の対応について

【教育総務課】

- ・ 就学援助の認定状況について
- ・ 奨学資金の認定状況について
- ・ 7月豪雨における吉川小学校の状況について

【義務教育課】

- ・ 夏期教職員研修について

- ・新型コロナウイルス感染症における小中学校の対応について

【こども育成課】

- ・新型コロナウイルス感染症における保育所、認定こども園、幼稚園、子育て支援センターすきっぷ、留守家庭児童育成室の対応について
- ・吉川保育所職員の新型コロナウイルス感染対策について

【生涯学習課】

- ・施設管理（工事・修繕）について
- ・各種事業における新型コロナウイルス感染症対策について

【議長】

事務局からの報告につきまして、ご意見、ご質問等はいかがでしょう。

【委員】

事務局から濃厚接触者にならないためには、三つ避けないといけないという話がありましたが、対策ということで、フェイスシールドがダメということだったが、マスクなどありあますが、他に何かあるのですか。

【事務局】

ふたば園では設置していますが、食事の時に机を四つに仕切ったりするものがあります。よくテレビで見るものですが、それで仕切っていれば、農耕接触者になってなかったかもしれないと思う。

【委員】

陰性であっても、2週間も休まない駄目ということで、陽性であった場合も2週間ですか。

【事務局】

陽性であった場合は、初めに検査した方が当然2週間になるが、その場合、園の方が問題であり、濃厚接触者を特定しないといけませんので、園の休みはもっと長く伸びたと思います。陽性と判断された人は約2週間の休みが要請されると思います。今、聞いている陽性の者については、発症していない場合、検査後10日経過したら退院となる。

【委員】

要望ですが、先ほど青少年育成協議会の件で、東能勢中学校まで印刷に行かせてもらった。印刷室には、もともと印刷機が2台あるが、1台は長らく故障中となっている。中学には印刷機は1台しかないみたいだが、それを使ったところ、ドラム関係で、汚れが出て印刷される。私の時間切れで印刷ができなかったという状況であったが、それが学校でテストの印刷の際、不安だと思う。他の学校のことはわからないが、もう1台の方も修理する部品がない状態だと聞いた。印刷機の更新を要望する。

【教育総務課】

印刷機の故障の状況については聞いておりませんが、学校に印刷機が複数あると聞きました。通常は1台のはずである。どういう経緯で2台配置になったのかわからないが、今、1台あれば十分と思っております。ただまあその動き悪いということでしたら、学校に確認をして必要であれば、修理をしていきたいと思えます。

【議長】

先ほどの新型コロナウイルス関連ですが、一昨日、校園所長を開きまして、保育所の方からこの間の対応等につきまして説明がありました。また、校長先生方からも様々な質問が出たところがございます。大阪でも、昨日は155人も感染者が出ており、大阪あるいは、近畿そして、全国で感染者が増えており、二次感染期に入ったのではないかとというようなことも言われております。これまでからも、新型コロナウイルスの感染防止対応、こども達の健康・安全の確保のためにも様々な対応を図ってきておりますが、無症状の人も大変増えており、いつどこで感染が広がるようなことも想定されます。それぞれの学校園所におきましても、これまでのその対応はとっておりますが、これからも十分その対応をとっていただくようお願いをしたところがございます。もう一点は、長かった梅雨が、いよいよここ数日で開けるということで、暑さ対策が大変心配になって参ります。1学期につきましては、授業時数の確保から、今年度に限りまして8月7日までということで、暑い中授業をしたり、登下校をしたりするというようなことになっております。そこで先クーラーを配ったり、あるいは日傘をさしたり、水分補給をきちんとするように注意することを学校に指示をしております。ただ、こども達も長期間学校を休んでいた経緯もあり、体力もずいぶん落ちている状況でございます。来週一週間につきましては、これまでからもこども達の登下校につきましては、保護者あるいは地域の皆さん方に見守り活動にお世話になっておりますが、引き続き、お願いをするとともに、事務局でも小学生の下校時に東地区、西地区とも、青パトで見守りを実施しようと思っております。委員さんもし時間がございましたら、家の前や近くの交差点でこども達の下校の様子を見守っていただければありがたいと思っておりますのでどうかよろしく願いいたします。

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。

8月の豊能町教育委員会会議につきましては、8月26日（水）午前9時30分より開催させていただきます。

【議長】

以上をもちまして、令和2年度第3回豊能町教育委員会会議（7月定例会）を閉会いたします。

長時間に渡り、ありがとうございました。

閉会 午後3時22分

